

喜多見地区社協だより



令和元年9月12日号 発行元：喜多見地区社会福祉協議会

世田谷区社協キャラクタ
ココロ



主催：喜多見地区社会福祉協議会

高齢者交流会



日帰りバス旅行参加者募集中!

茨城県
笠間周遊

- ★焼き物に絵付け体験 ~完成した作品は後日お渡し~
- ★漁港直送の地魚膳でお昼食 ~プロの目利きで厳選した旨さ~
- ★笠間稻荷の菊まつり ~圧巻の5000鉢~

喜多見出発（7時頃）→ 笠間稻荷神社 → お買い物 → 絵付け体験
→ 昼食（13時頃）→ お買い物 → 喜多見到着（17時半頃）

日程：令和元年 **11月5日（火）**

対象者：***70歳以上**の喜多見まちづくりセンター管内在住者

喜多見・宇奈根・鎌田在住者（一部周辺地域を含む）

*自力歩行が可能な方

定員：80名（バス2台）

参加費：3,500円

申込〆切：10月4日（金）

※申込み多数の場合は
抽選となります。

- *この事業は喜多見地区の皆様からいただいた社協会費で運営されています。
- *多数のお申込みが見込まれるため、お早めにお問合せください。
- *申込み多数の場合は、社協会員を優先させていただく場合がございます。

申込先：Tel：070-3946-9804 Fax：03-6733-7943
（社会福祉協議会 喜多見地区事務局）

NPO法人 せたがや水辺デザインネットワーク

せたがや水辺の楽校あそびの日 水辺ガサガサ

今回二子玉川運動場近くの「野川ベース」にて開催している「水辺ガサガサ」にお邪魔しました。目印は「せたがや水辺の楽校」上り旗です。水辺ガサガサとは、ライフジャケットを着て親子で川に入り足で岩をガサガサして魚を捕る体験型の遊びです。川遊びを通じて自然と触れ合う事で「川」を理解し魚を捕まえる知恵や喜び、川に身体全体でプカプカ浮いて流れる楽しさを体験する事で心豊かな人間性を養う事ができたり自然と共存していく事を学ぶとても大切な場所だと感じました。大はしゃぎして楽しむ子ども達の姿を通して幼少期に自然の中で遊んだ記憶も思い起こされ、大人も童心に戻る事が出来ます。



「せたがや水辺の楽校」の活動は今年で14年目、スタッフの方々はボランティアでの活動という事に大変驚きました。小さい頃から参加されている方が大人になった今、ボランティア活動されているそうで頭の下がる思いです。人も魚も住み良い場所に必ず戻ってくる。そんな素敵な場であり地域貢献、地域密着型の自然体験の場スタッフの皆様の温かいおもてなしの心で開催されている「水辺ガサガサ」。是非一度体験してみたいはいかがでしょうか。

【問合せ】080-3007-5413（事務局：村上）

おでかけひろば きぬたまの家（うち）

運営法人である「NPO法人 砧・多摩川あそび村」の上原理事長ときぬたまの家事務局の三瓶さんからお話を伺いました。

野川と多摩川に囲まれた鎌田の住宅地にある一軒家“きぬたまの家(うち)”。遊びに訪れる親御さんからは「実家に来たみたい」と、どこか懐かしさを感じさせるそんな空間です。きぬたまの家は5年前に設立され、0歳から概ね3歳まで（就園前）の幼児とその保護者を対象としていますが、多摩川の自然を遊び場とする「きぬたまあそび村」がある事で、3歳以降も切れ目の無い繋がりと支援が出来るのが特色です。開所時間は10時から15時まで出入り自由で無料で気軽に立ち寄る事ができます。

核家族が多くなり、子育てに不安があっても身近に相談できる相手がいないという方でも、ここにくれば子育ての先輩に相談しながら遊ばせることができます。

今回、お二方のお話を通して、スタッフさんの子ども達への温かい気持ちが伝わってきました。“子は宝”とよく言ったものですが、今回の訪問を通じて地域での子育て支援の大切さを改めて肌で感じ、もっとこういう場所が増えたらと思いました。

【問合せ】03-6447-9931（きぬたまの家）

